

## ひとり暮らし高齢者等見守り活動推進事業

高齢化の進展や家族意識の変化に伴い、ひとり暮らし高齢者が増加しています。ひとり暮らしの高齢者が孤立せず、安心して生活できるためには、地域における見守り活動が重要です。

福岡県では、平成20年度から市町村において民生委員や老人クラブ等が連携した組織的な見守り活動が実施されるよう、市町村に対し、具体的な活動手法等を盛り込んだマニュアルを提供するとともに、「ひとり暮らし高齢者見守りネットワーク協議会」の設置を促してきました。

平成23年度からは、漏れのない見守り活動が継続的に実施されるよう、小地域（小学校区や町内会の区域など）ごとの見守り活動チームづくりを促進しています。具体的には、チームづくりの要となる「見守り活動推進員」を養成するほか、見守り活動優良団体の表彰など市町村におけるチームづくりの取組を支援しています。

さらに、平成24年度からは、地域住民による見守り活動に加え、各家庭を訪問する機会の多い事業者が日常業務を通じて、ひとり暮らし高齢者等の異変を察知した場合に市町村へ通報する活動「見守りネットふくおか」を県全域に普及させる取組を開始しています。

関連資料：ひとり暮らし高齢者見守り活動事例集

[http://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/69002\\_17479816\\_misc.pdf](http://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/69002_17479816_misc.pdf)

(福岡県保険医療介護部高齢者地域包括ケア推進課)